

ぬくもりを道しるべに

「かじかむ」「しばれる」は、凍てつくような厳しい寒さを表す方言。あの日も、春が遅い東北はまだ冷え込みがきつかった。すでに今年は各地で積雪被害も出ている。被災地の冬は厳しい。ましてや、仮設住宅で暮らす人々の住環境は身体にこたえる。帰還困難区域を故郷とする人々の心情は底冷えの思いであろう。「復興」のことが木枯らしのように吹き流されていく感ずる中で、私たちは被災地の人々に「ぬくもり」を届け続けたい。

そして、祈りたい。「ぬくもりを道しるべに、共に復興の日まで歩み続けられますように」と。



分かつ合う喜びの日

今年も被災地にクリスマスプレゼントをお届けします。その品物一つ一つに「心を込めたい」と思います。今までも、これからも私たちは「必要な人に、必要なもの」を贈りたいと思います。みなさんから頂いた11円募金と、保護者会や生徒会から頂いた文化祭収益寄付金、その他大勢の方々から寄せられた募金を使い

心も体もぬくもるプレゼントを、仮設住宅にお住まいの方々にお届けする準備を進めています。

保育園児や、幼稚園児や、小学生のみなさんには

真っ赤な可愛い熊のぬいぐるみを準備しました。〈なんと高校生にも大人気です〉



おじいちゃんやおばあちゃんには綿入り半纏
湯たんぽ



おじちゃんおばちゃん
お姉ちゃん、お兄ちゃんには
もこもこ靴下・マフラー
帽子・ほっとアイマスク他



今年もプレゼントの一つ一つに、メッセージカードをそえたいと思います。

あなたにも、是非メッセージを書いて欲しいと思います。お願いします！

初代実行委員長・西紋あかりさん感激！！

11月23日、京都府立植物園で開催された「あすKYOフェスタ」に実行委員会初代委員長の西紋さんも委員会のブースに来てくれました。また、ステージでの活動発表も聞いてくれました。「被災地の向日葵を校内に植えて！」と話をもちかけてくれた彼女。当日素敵な小袋に入れられた向日葵の種を見て、「後輩が活動を引き継いでくれていて感動です。そして、私自身が勇気をもらえました。」と言って、みんなで記念写真を撮り、活動の継続を約束しました。

当日の活動の様子は裏面をご覧ください。

あなたも実行委員になりませんか！

あの日、何かできないだろうかと思った人は大勢でした。しかし、日がたつ中で、被災地を忘れてしまう人も多くいます。そんな中で今も、「被災地を応援したい。」「被災地の今の状況を知りたい。」と思っているあなたは、是非実行委員会に参加しませんか。

委員たちのほとんどはクラブや習い事、生徒会・勉強などでも忙しい人たちですが、「自分のできる範囲で、被災地への思いだけで止めずに、行動に移しています。」そんな実行委員たちの活動の様子を紹介します。

11日朝は「11円募金活動」

朝の15分間は校門前で募金活動に参加します。
都合の良い月に参加します。



昼は実行委員会・雑記達

昼休みは委員会で活動の確認などの打ち合わせを行います。

イベント月には募金・販売活動に参加して被災地の様子を知らせています！

学内だけでなく学外にも積極的に出かけて行きます。



いつも小さい
子たちが募金
してくれます
よ！



着ぐるみの中
も、実行委員
メンバーで
す！

垂れ幕は、書道部が
書いてくれました！



この日は、向日葵の種250袋が完売しました。植物園に隣接する資料館の職員の方が「来年の夏は資料館の庭にもこの向日葵を咲かせます。」と言って下さったり、昔々の卒業生や、卒業生の保護者の方々との出会いもあり、「さすが平女やなあ。」と活動を褒めて頂いたりしました。最後は午後担当委員たちで募金集計。この日の募金額は**39,558円**でした。